

令和5年度 第1回 中野市子ども・子育て会議 議事録

日時	令和5年7月5日(水) 13:30~14:55
会場	中野市役所4階 会議室 41.42
出席者 (委員)	古川三智子(副会長)、浅沼志野、吉見実里、望月優子、古幡由里恵、 下田美香、弓削弥生、古川千恵子、川橋陽子、吉原明彦、竹節雅英、 大碓いず美、角本弥生、(計13名)
(市:事務局)	小林子ども部長、鈴木保育課長、小林子ども支援係長、江本施設係長、 山田保育係長、松野主査(計6名)
資料	次第 資料1: 令和4年度「第2期中野市子ども・子育て支援事業計画」の 進捗状況について 資料2: 第3期中野市子ども子育て支援事業計画の策定について 資料3: 保育所建て替え(民営化)方針について
1 開会 (小林子ども部長)	それでは、定刻となりましたので、只今から令和5年度第1回中野市子ども・子育て会議を開会いたします。
2 あいさつ (小林子ども部長)	私は、子ども部長の小林と申します。 開会にあたり一言ご挨拶申し上げます。 本日は公私ともご多用の中、子ども子育て会議にご出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃より本市の行政全般にわたりご理解ご協力を受け賜わり重ねてお礼を申し上げます。 さて、この4月1日よりこども基本法が施行され、同時にこども家庭庁が発足されました。子どもが身心ともに健康かつ幸せに成長できるようサポートするよう設置された国の行政機関であります。 これまでの子どもの関する取り組みやサポート運営は文部科学省や厚生労働省などがそれぞれ行っておりましたが、これをこども家庭庁に一本化し、司令塔のような役割を果たすこととなります。 さて本市においても、国の方針や子どもの視点に立った取り組みを行っていくとともに、子育て世代に子育てしやすい中野市となるよう、様々な子育て支援策を実施して参ります。 本日は、第三期中野市子ども子育て支援事業計画の策定についてと、保育所の建て替え、民営化の方針などについてご説明をさせていただく予定です。委員の皆様には、未来の中野市を見据えた上で、ご意見を積極的にいただければと思います。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

	<p>たします。</p> <p>本日の会議ですが、中野市子ども子育て会議条例に基づきまして、過半数の出席ということで会議が成立してございます。よろしくお願いいたします。</p>
自己紹介	<p>(略)</p>
	<p>それでは3の議事に入ります。中野市子ども子育て会議条例の規定によりまして、会議の議長は会長にお願いしたいと存じます。なお、会長の片所ですが本日都合により欠席をされておりますので、古川副会長に代わりにお願いいたします。それでは、副会長古川様は議長席にご移動をお願いします。</p>
(古川副会長)	<p>片所会長の代わりに、進行役をやらせていただきます。古川ですけれども、よろしくお願いいたします。</p>
3 議事	
(1) 令和4年度「第2期中野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について	
(古川副会長)	<p>はじめに、協議事項(1)令和4年度「第2期中野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局) 小林子ども支援係長	<p>資料1に基づき説明</p>
(古川副会長)	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問等ございましたら、挙手にてお願いします。</p>
(委員)	<p>概ね達成しという評価は誰が評価をしているものなのですか。</p>

(事務局) 小林子ども支援係長 (委員)	事業を行っている担当部署で評価してもらっています。 評価は実態ではなく数字の上で行っているのですか。
(事務局) 小林子ども支援係長	はい、そうなってしまいます。
(委員)	私たちが実感していることと、評価の達成していることではちょっとずれがでる感じですかね。
(事務局) 小林子ども支援係長	評価にもよりますが、ずれが生じてしまう可能性もあります。
(委員)	私たちの考えと評価のずれが出た場合、今後どのようにして、考えを一致させていくのか、どう考えていますか。
(事務局) 小林子ども支援係長	この会議でそのずれの部分をお聞きしまして、その担当部署とお聞きした内容を合わせていくような形になります。
(委員)	わかりました。
(古川副会長)	ほかに質問がありますでしょうか  (質問等なし)
(古川副会長)	質問等がなければ、次に進みます。
(2) 第3期中野市子ども・子育て支援事業計画の策定について	

<p>(古川副会長)</p>	<p>(2) 第3期中野市子ども・子育て支援事業計画の策定について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 小林子ども支援係長</p>	<p>資料2に基づき説明</p>
<p>(古川副会長)</p>	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問等ございましたら、挙手にてお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p>
<p>(事務局) 小林子ども部長</p>	<p>補足させていただきます。</p> <p>第2期中野市子ども子育て支援事業計画が令和2年度から令和6年度までの計画となっております。第3期については令和7年度からの計画期間となり、どのような子育て支援策があるかニーズがあるかをまず今年調査します。</p> <p>それに基づいて集計をし、この会議で皆様のご意見をお聞きしながら令和6年度に計画を策定していく流れとなりますので、第2期中野市子ども子育て支援事業計画が基となります。プラスこれから国・県で行おうとしている、子育て支援策があれば盛り込むという流れになっています。</p>
<p>(古川副会長)</p>	<p>ご意見ご質問等ございましたら、挙手にてお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p>
<p>(古川副会長)</p> <p>(3) 保育所建て替え (民営化) 方針について</p>	<p>質問等がなければ、次に進みます。</p>

<p>(古川副会長)</p>	<p>(3) 保育所建て替え(民営化)方針について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 鈴木保育課長</p>	<p>資料3に基づき説明</p>
<p>(古川副会長)</p>	<p>ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問等ございましたら、挙手にてお願いします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>これからの検討だとは思いますが、今保育園では保護者が働いていないと受け入れてもらえない。最近、働いていなくとも預けられる保育園があるみたいですけど、保護者が働いていなくても保育園に預けられるようになることは、検討はしていますか。</p>
<p>(事務局) 小林子ども部長</p>	<p>市内には私立幼稚園が1か所、保育園の部分と教育の部分が一緒になった認定こども園が1か所、19人までのお子様を預かる私立保育園が2か所と私立保育所1か所があります。この先、育児休業等がおわり退所しなくても、そのままいられるようなメリットのある認定こども園が増えてきていることは承知していますが、高丘、平野保育園がそうなるかっていうことは、まだ決まっておらず業者が、それがやりたいというご提案をされた時点で、市と協議という形になろうかと思っています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>やはり働いていないと保育園に預けられないのは、変えてほしいと実感しています。正直、預けるにも書類とかが本当に大変複雑で結構細かいことを書いたり、本当に誰でも別に幼稚園でも保育園でもいいのですが仕事をしている、していないにかかわらず、どこでも自分の希望するところに、預けられたらと思いますし、家庭の状況は本当にいろいろですし、家で介護をしている方とか、いろいろな事情の方々が預けられやすいようにしていただければいけないと思います。</p>
<p>(事務局)</p>	

小林子ども部長	<p>まず保育所の定義ですが、昼間家庭でお子さんを保育できない方というのが大原則です。ですので、昼間ご家庭で子育てをすることができ方は、保育所に入れなくなっています。国で、誰でも保育園に入れるような報道がありますが、まだこちらの方に全く詳細がきていない状況ですので、どんな方がどのような保育所に入れるのかを今後、注目していく必要があると思っていますけど、今のところは、条件がある方のみ入るといようなことで、ご理解をいただければと思います。</p>
(委員)	<p>私の考えではもう年少さんになったら保育園に入所して、集団の生活に慣れるっていう目的もあると思っています。</p> <p>結局、家におばあちゃんとかおじいちゃんがいれば入所はだめで、保育所も待機児童がいたら、おじいちゃんおばあちゃんがいる世帯は絶対入れない感じで、法律があるからしょうがないですけど、保護者が家にいても入所できる方向になればいいと思います。</p>
(古川副会長)	<p>他に、ご意見ご質問等ございませんか。</p>
(委員)	<p>今1点、ここで高丘保育園と平野保育園が、令和7年度には開所のつもりでやってくっというお話を伺ったのですが、松川保育園が今度、統廃合を含めて検討継続ということで、話はしていると思うのですが、統廃合って、今どのような状況か、まだ先のことなのですが、わかっている範囲でよろしいので、お聞かせをお願いいたします。</p>
(事務局) 鈴木保育課長	<p>松川保育園につきましては、資料にも書いてある通り検討継続であります。</p> <p>例えばどこかの保育園を増築し、そちらの方に入所していただくとか、いろんな選択肢がありますけれど、今のところは、どのように持っていくか具体的には決まってないところですので、また方針等出ましたら、ご意見を聞いていきたいと、考えていますのでよろしく願いいたします。</p>
(古川委員)	<p>今まで長丘保育園がありましたが、廃園になった時、保護者の方に、保育園を選んでくださいというようにお話を伺ったことがあります。</p> <p>そんなやり方も一応考えていることでいいですか。</p>

(事務局)  
鈴木保育課長

いろいろな考え方があると思いますが、まだどういう方向に持っていくかは、これから詰めていきたいと考えております。

(委員)

なぜ、民営化することについてなんです、その時に財政負担っていうのはいろいろあると思うのですが、現在、職員の方が働いていると思いますが、そういう方のこれからの対処と言っては申し訳ないですが、どのような方向で考えているのか、そこらの辺もお聞かせ願いたいと思います。

(事務局)  
鈴木保育課長

保育園の方には正規職員と会計年度職員があり、正規職員につきましては、ほかの保育園に異動していただくという形で、会計年度さんについては、ご本人の希望によりますが、民間に移っていただく保育士さんも出てくるのかなと思っております。

(委員)

高丘保育園が建て替えと民営化という方針になっていることで、びっくりしたのですが、民営化することで、こういう懸念もあるみたいな、今あんまり思いつかないのですが、何か公立じゃなくて、民営化するとこういうところで、デメリットっていう言い方が適切かわからないのですが、課題とか、気をつけなければとか、市の方でも気をつけることとか、監査とか、何かわかっている点があれば、教えてください。

(事務局)  
鈴木保育課長

やはり公立であっても私立であっても、それぞれの長所と短所っていうのはあるかと思いますが、今まで整備計画ですとか、民営化のガイドラインをお出ししてご意見をいただいたところでは、例えば民間の方ですと、市内に事業所が一つしかないという異動というものがないので、そこだけの何か新しい風が入ってこないわけではないのですが、そういった固執した考えになってしまうのではないかっていうご意見をいただいているところであります。

あと民営化になったとしても市が全く関与してないっていうことはありませんので、現在市内にも民間の保育園ですとか、認定こども園もありますけれど、やはり市として一緒に関わっておりますので、市としては民間に移行したので、全く管理しませんということではない

<p>(事務局) 小林子ども部長</p>	<p>ですので、よろしくお願いいたします。</p> <p>補足いたします。</p> <p>一番は非常に施設が古いと、ご実感されている方が多いこと、そして2年ほど前にアンケートをとらせていただいた時、「早く施設を新しくしてもらいたい」というご意見がたくさんあったということと、一番心配されているのが「保育料が高くなるのでは」というご意見、あと「保育園の先生がみんな変わってしまう、子供たちが不安になってしまうのではないか」というご不安のご意見が非常に多かったということがあります。</p> <p>まず建物については民間であれば、その機動性、アイデアをたくさん持っていますので、新しくするのであればこの形が一番早いということもありますし、保育料につきましては、市もきちんと調整にはいり、協議もしますので保育料は市と同じです。</p> <p>子供たちの不安については、共同保育や引き継ぎをしっかりとやって、個々の子供たちがどういう特性でどういうことをやって、例えばアレルギーであったり、地域の交流であったり、イベントであったり細かなところまで、時間をかけて引き継ぎをさせていただいて、一つ一つ不安を取り除いていくということで、いち早く、施設を新しくして安心して通っていただきたいという思いであります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>やっぱり先生方は、そこで働きたい人、変わる人は変わるかもしれないけど、基本的には民間が、雇った方たちというふうにも変わることですよね、年度の途中で。</p>
<p>(事務局) 子ども部長</p>	<p>職員については先ほど課長が言いましたけれども、民間に移りたいという方も中にはいらっしゃいますので、希望とって、そちらに移っていただくのですが、こちらで民間業者にお願いする時に、今までお勤めいただいた方を積極的に雇用してくださいという条件をつけさせていただく、同じ先生がその保育園に行くかというのは今の段階では言えないですけれども、中野市の公立で働いていらっしゃる保育士さんは、すべて民間に変わるかっていうところではなく、その人数の割合は今わからない状態ですが、そこら辺の不安も、一つ一つ取り除けばと思っています。</p>



<p>(委員)</p>	<p>スケジュールの方で、大体今年の秋口から来年度末で、民間事業者さんの公募となっていますが、応募してくれる企業さんとか、目星があつての事ですか。</p> <p>スケジュールが6月から3月なので1年もないですけど。</p> <p>整備ってそんなに早くできるのかと思ひまして。</p>
<p>(事務局)</p> <p>鈴木保育課長</p>	<p>確かにスケジュールのほうはかなりタイトになっていますけれど、この事業者が手を挙げてくれるという見込は今のところないのが現状であります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>これは公募で無かったらどこかの企業に声をかけるとかそういう感じになっても民営化するっていうのはもう決まっているのですか。</p> <p>募集が無くてもどこかの企業にお願いする方針ですか。</p>
<p>(事務局)</p> <p>鈴木保育課長</p>	<p>最初の募集を行ってもなかった場合は、募集の要綱等を見直して再募集を行いたいと思っています。それでも、手を挙げてもらえない場合は条件を変えて、さらに入りやすい環境を整えて再々募集を行い、いずれにしても、民間業者をお願いしたいとは思っております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>自分でもお話を聞いて、この現場で働いていて、不安なことがたくさんあります。保護者の皆さんや、地域の皆さんの不安と同じ大きさぐらい、私たちも不安に思うことがいっぱいあります。</p> <p>そしてお母さんたちの子育ての今の時期、日頃不安である中にさらに環境が変わってくつていうのは、保護者の皆様からすると本当に大変なことで、子供たちの笑顔がずっと続いて欲しいとか笑い声がずっと続いて欲しいっていう、子育ての思いがいっぱいある中でのお話ですけども、自分たちの現場の中で一番できることが、皆様の不安とか、子供たちの不安とかに一生懸命耳を傾けながら、それを保育園の中で、保護者さんと会話をしながらそれを担当者の方にしっかり返して担当者の方からまた情報もらって、いろんな会議や、説明会をどんどん開いていってもらいながら一つ一つの不安を、確認しながら、今どういう状況なのかを確認しながら進んでいき、新しいことが始まる期待に向かっているように自分たち現場の方も努力していきたいと思っております。</p> <p>そして過去の話をししますと、永田保育園が廃園になりまして、豊井</p>

	<p>保育園の方へ移ってとよた保育園となりました。</p> <p>その時も、長い数ヶ月間、工事も入りましたので、交流保育をさせてもらって一緒に生活するっていうこともありました。</p> <p>長丘保育園が廃園になる時も、たかやしろ保育園、平岡保育園で、いろいろ交流させてもらったり保護者さんの施設内見学していただいたりしながら見てもらったり、いろんなお話聞きながら耳を傾けたり、そういう時間を作って参りました。</p> <p>今後も平野地区の皆様、高丘地区の皆様、周りの保育園の様子もまた見ていただく機会を十分とってもらいながら、納得しながら進んでいかればいかなと思ひ、自分たちもその努力を一生懸命やりたいと思ひますので、何かありましたらまた送迎のときとか、いろんところでまた、保育園現場の方に声を聞かせていただければと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
<p>(委員)</p>	<p>子どもを私立保育園に通わせていますけど、今、説明あった保育料は変わらないって市と同じっておっしゃっていましたが、副食費ですかその他、保護者の負担がちょっとあつたりするのですけれども、民営化するってことになったら、保育料のほかに経費が掛かることはあるのですか。</p>
<p>(事務局) 鈴木保育課長</p>	<p>保育料は、民であっても公であっても変わりませんが、やはりその実費負担分っていうところでは、違いが出てきますが、そこは市と事業所で、その辺の部分を詰めていきたいとは思ひております。</p> <p>あと、保護者も入れて3者で進めていきたいというふうに考えております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>保護者の方の意見が、今までとちょっと違ったところがあるって思ひたときは、納得するまでちゃんと話し合うようになるのですか。</p>
<p>(事務局) 鈴木保育課長</p>	<p>そうですねその辺はやはり、違いが出てくるということは必ずあるとは思ひますので、その辺をやはり保護者の方にもご説明させていただいて、すり合わせできるように、市としてもやっていきたいと考えております。</p>

(委員)	<p>不安になることはしょうがないと思いますが、保護者の方の意見もしっかり聞いていただいてやっていただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>私は、子供を市内の幼稚園に通わせるときに、幼稚園の方針とか教育に関しても同感で、ここで3年間過ごして欲しいなと思い通わせていただいていますけれども、公立保育園が民営化になるということで、各保育所でこの保育園はこんな方針でとか、そういうふうになれば、この保育所にさせてもらうとか、今地元で近いからその保育園っていう選び方もされていると思うのですが、保育所で特色があれば、少し遠くても、その保育園で3年間過ごして欲しいなとか。</p> <p>そういったことも出てくるのかなと思うので、民営化になるのであればそういったところも取り入れていただければなと思います</p>
(委員)	<p>私も、私立ならではの魅力というか、やっぱり公立は公立のよさもありますし、私立は、すごく何か特色があって、私はそれに惹かれて、私立に入れたいなと思って、選んだのですが、きっと民営化になることで不安になられる親御さんもたくさんいると思いますし、先ほどの園長先生がすごく不安を和らげるようなことおっしゃってくれて、きっと公立の高丘保育園や平野保育園の親御さんに、今、園長先生の、そういう不安を取り除いてくれることをぜひ発信していただけたらなと思います。</p> <p>民営化になって、その民営化ならではの、新しい保育園の特色をぜひアピールしてもらい、進めていただけたらなと思います。</p>
(委員)	<p>今後、高丘の保護者さん、平野に通わせている保護者さんたちへの説明会って多分、順次あると思うのですが、先ほどの意見にもあったように、保育園に通わせるうえでの費用に関して、毎月の副食費以外にかかっているのが、春夏秋冬っていうぐらいで、先生が撮ってくれた写真を、希望する枚数購入費とか、運動会とクリスマスなどのちょっとしたプレゼントみたいなものの費用ぐらいが主なところで、あとはほとんどかかってないのですね。</p> <p>私の子はバスも使わせていただいていますけど、それも公立でことで、バス費用も特にかかっていないです。なので、企業によって、こういうところ実費で費用がかかりますっていうのはどうしてもあると思うのですが、できる限りわかる範囲で、企業が運営すると大体1年のうち、この時期に行う行事とか、ちょっと皆さんに実費をいただいととか、これまでの実績とか、参考で大体の経費はこのぐらい今後かかるようになるとか、あと先生の人数とか、今のところ</p>

すごく先生の数、補助の先生の数も含めて、すごく入れてくれているなあって思います。

割と補助の先生も含めて結構配置してくれている感じがあって、安心して通わせていますが、保育士さん不足だとかその補助の人を雇うにしてもなかなか不足しているとか、その辺の事情はわからないのですが、そういった人員不足になってしまうのはなんだか、怖いなというか不安になる親御さんが多いのではないかなと。

子供の数によってももちろん保育士さん人数も変わると思うのですが、そういったところもできる限り説明会の時などに伝えていただきたい。

本当にいろんなご家庭の親御さんいると思うので、負担が増えてしまうなら、ちょっとやだわとか心配だわっていう方も、あるいはそんな話は聞いてなくて、こんなにかかるのとかって戸惑う方もいると思うので、説明していただければと思います。

(事務局)  
鈴木保育課長

各園への説明会については、今月末ぐらいに行うもので、そのときには、そういった経費的などを提案していただいて、最終的に決定した事業者によってもちょっと自己負担の部分っていうのがいろいろ変わってくると思いますので、事業者が決定した時点で、地元の保育園の方に説明にあがりたいというふうに思いますのでよろしく願いします。

あと配置につきましては、保育所は各年齢における配置基準等もあります。どの程度必要があって配置できるかどうかっていうのは事業所の方の考え方っていうのもあるかとは思いますが、その辺も、事業者が決定したところで詰めていきたいと考えていますのでよろしく願いします。

(委員)

すみませんお話とか伺っていて、保護者の方やお子さんのお気持ちがあってということがありますので、説明っていうか、先ほど、園長先生もお話いただきましたように、耳を傾けていただきながらやっていただきたいなってことはあるのですが、先ほど、保育園の保護者の方も言っていました、スケジュール的にきつい部分あるかなっていう感じがしていて、今年の秋から、その前に説明会がありますけれども、秋からの民間事業者の公募選定ということがあって、早い段階である程度決まってくればと思うのですが、そうじゃなければ、本当にこれやっぱ保護者の方お子さんあるいは市民の方もいらっしゃる中で、この建物そのものも、民間さんが建てられる格好になるわけですよね。

そこに対する建設にかかる説明会ってこともありますけれども、工事の発注をかけても、人手不足の中で、建設、行政的にはフラット拡張って言い方するのですけどそういったことも結構発生しています、少しスケジュール的にかなりきついな 逆に丁寧にやっていただく中で、建物の古さだとか、よりよい保育ってことを考えれば早いほうがいいのでしょうかけれども、この7年4月1日からってというのは、本当に硬い決定なのか、再公募なんてこともあるかもしれないし、それちょっとどんな感じなのかなと思います。

(事務局)  
鈴木保育課長

おっしゃる通りスケジュールきついなっていうふうには思っていますけれど、ただ予定通りというか、この当初の期間内に手挙げしていただける事業者がいて、通常の工事の発注で予定通り進めば、このスケジュールでいけると考えておまして、やはり行政ですので、国・県の補助とかも入ってきますので、やはり年度的な区切りで考えていかなければいけない部分っていうのも出てきてしまいます。

どうしてもスケジュール的にはこのような形になってしまいます。

例えば事業所が一つも手を挙げていただけなかったっていう時がありましたら、またその時その時で、やはり臨機応変に次の手を打っていきたいと考えておりますが、当面はこのスケジュールで進めていきたいと考えております。

(古川副会長)

他にご質問等ご意見ありましたらお願いいたします。  
よろしいでしょうか。

(意見等なし)

それでは質問等がなければ、以上となります。  
委員の皆さんのご協力で、議事を円滑に進めることができました。  
ありがとうございました。

(進行役、子ども部長に交代)

4 その他  
(1) 今後の会議日程

(小林子ども部長)

それでは4のその他でございます。

今後の会議日程でございますが、次回については令和6年2月から3月を予定しているのですけれども先ほどご説明させていただいた通り第三期中野市子ども子育て支援事業計画の策定準備がございます。また保育園の関係もでございますので、随時、この間に開催する場合がございますら、早めにご連絡を差し上げたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(2) その他

①児童センター、放課後児童クラブ子育て支援センターの指定管理制度の導入について

②子育て支援拠点施設（ハブリック）の利用状況について

(小林子ども部長)

次に(2)になりますその他①と②について事務局から説明させていただきます。

(事務局)

小林子ども支援係長

資料はないのですが、ご説明させていただきます。

①の児童センター、放課後児童クラブ、子育て支援センターの指定管理制度の導入についてですが、令和5年3月の時に、子ども子育て会議で意見をおききし、今年度6月の議会で指定管理者制度の導入に伴う条例を改正させていただいております。

現在、ホームページに掲載し、6月28日から8月18日の間で指定管理者の募集を行っております。

8月頃になりますが、指定管理者の選定を行い、来年1月から3月の間に、指定管理者の方との引き継ぎ、事前準備等を行いながら、令和6年4月1日から指定管理者の方で管理運営を行っていただくようになります。

指定管理期間は、令和6年度から令和11年度まで5年間の予定ですので、よろしくお願いいたします。

②の方も続けて説明させていただきます。

子育て支援拠点施設、ハブリックの利用状況ですが、旧長丘小学校を

利活用いたしまして、今年度4月1日にオープンしました。オープン時からたくさん方が利用していただいている状況でございます。

4月の利用状況ですけども、大人 1,703人。子供 2,019人。

合計 3,722人。

市内の利用 790組、市外の利用 517組、合計 1,307組になります。

5月の利用状況、大人 1,499人。子供 1,717人。合計 3,216人。

市内の利用者 565組、市外の利用 589組。合計 1,154組といなります。

また皆様もハブリックの方をぜひお子さんと行ってみていただけたらと思います。

説明は以上でございます。

(小林子ども部長)

事務局から説明がありました件について、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(意見等なし)

今の説明で児童センター放課後児童クラブ、子育て支援センターの指定管理者制度これも民間の方に運営をお任せするというような制度でございますが、決して市の責任を放棄しているというわけではなく民間の力を借りながらともに切磋琢磨しながら運営をしていこうというようなことで考えておりますので、今回のほかに、意見がございましたらぜひ、子育て課担当の方に、メールでもファクスでも何でもいいですが、ご意見お寄せいただければありがたいと思います。

## 5 閉 会

(小林子ども部長)

それでは以上をもちまして、令和5年度第1回子供子育て会議を閉会といたします。

長時間にわたり本当にありがとうございました。